

# 祈りにつながる主日礼拝 詳述版

～一人または少人数で守る主日礼拝のために～



主日礼拝を教会で捧げられないことに悲しみや不安を覚えることは当然です。しかし、本当に悲しまなくてはならないことは、教会に集えないことを理由に主日に礼拝を捧げないことです。主日に教会に集い、礼拝を捧げることは、キリスト者にとって最も重要な務めです。ゆえに、様々な事情で教会に集えない場合でも、霊的生活において主日礼拝を守ることを大切なのです。各々が置かれた場から、祈りのうちに教会で捧げられている礼拝に連なるならば、キリストの体である教会の交わりに共に与る祝福が必ず与えられます。教会に集えないときこそ、礼拝の意味を改めて見つめましょう。

この式次第は、一人あるいは家族・友人など少人数で捧げる礼拝の式順です。  
『祈りにつながる主日礼拝』を共に捧げ、聖霊によって、礼拝の恵みを新たに受け取りましょう。

2020年3月3日  
日本キリスト教団 頌栄教会



- 可能な限り、主日礼拝が始まる 10:30/19:00 におささげください。
- 一人でこの式を用いる場合には、すべての部分を一人で唱えましょう。
- 適当な場を用意し、聖別された時と場であることを心に留めてください。
- 教会で捧げられている礼拝と連帯するためにも、可能ならば、黙読ではなく声に出して行いましょう。また、体調が許されるならば、立つ・座るの動作も取り入れましょう。
- 状況に応じて、讃美歌も声に出して歌い（または歌詞を音読し）祈ることをお勧めします。

【用意するもの】 聖書・讃美歌・今月の予定表(礼拝予定)・この式次第のプリント



## 神の招き

### 共に集う (着席)

心と体を礼拝に備えましょう。祈りのうちに共に集います。

### 招 詞 <詩編 100:1-3>

教会で礼拝をささげている人々と共に、神の御前に集っていることを意識し、招きの詞(ことば)を聴きましょう。

司式者 ぜんち しゅ む よろこ さけ 全地よ、主に向かって喜びの叫びをあげよ。  
よろこ いわ しゅ つか よろこ うた みまえ すす で 喜び祝い、主に仕え 喜び歌って御前に進み出よ。  
し しゅ かみ しゅ つく 知れ、主こそ神であると。主はわたしたちを造られた。  
わたしたちは しゅ のもの、その民 主に 養われる ひつじ む わたしたちは主のもの、その民 主に養われる羊の群れ。

### 招きへの応答 (起立) ♪ 讃美歌 (当日の最初の讃美歌)

キリストの御名によって集められた恵みを感じましょう。  
神の民として一つとなり、わたしたちを招き迎え入れてくださった神に感謝を捧げましょう。

## 罪の告白

司式者 全能の神に罪を告白しましょう。

(しばらく沈黙し、自らの思い、言葉、行い、怠りを振り返りましょう。  
神のまなざしのもとで省みましょう。)

<詩編 51 : 3-11>

司式者 神よ、わたしを憐れんでください

会 衆 御慈しみをもって。

司式者 深い御憐れみをもって、背きの罪をぬぐってください。

会 衆 わたしの咎をことごとく洗い、罪から清めてください。

司式者 あなたに背いたことをわたしは知っています。

会 衆 わたしの罪は常にわたしの前に置かれています。

司式者 あなたに、あなたのみにもわたしは罪を犯し

会 衆 御目に悪事と見られることをしました。

司式者 あなたの言われることは正しく

会 衆 あなたの裁きに誤りはありません。

司式者 わたしは咎のうちに産み落とされ

会 衆 母がわたしを身ごもったときも、わたしは罪のうちにあったのです。

司式者 あなたは秘儀ではなくまことを望み

会 衆 秘術を排して知恵を悟らせてくださいます。

司式者 ヒソプの枝でわたしの罪を払ってください

会 衆 わたしが清くなるように。

司式者 わたしを洗ってください

会 衆 雪よりも白くなるように。

司式者 喜び祝う声を聞かせてください

会 衆 あなたによって砕かれたこの骨が喜び躍るように。

司式者 わたしの罪に御顔を向けず

会 衆 咎をことごとくぬぐってください。

## 赦しの言葉

一人ひとりに告げられている主の赦しの言葉を聴きましょう。

司式者 主の赦しの言葉を聞きましょう。

<コリントの信徒への手紙二 5 : 21>

罪と何のかかわりもない方を、神はわたしたちのために罪となさいました。

わたしたちはその方によって神の義を得ることができたのです。

会 衆 アーメン

## 頌 栄

♪頌栄 545 「父の御神に 御子に 聖き御霊に 昔ながらの み栄えあれや ときわに アーメン」

祈りのうちに神の御業に思いを馳せ、父・子・聖霊なる三位一体の神をほめたたえます。

## 神の言葉

### 祈 禱 (着席)

御言葉を聴くために、聖霊のはたらきを求めます。  
心を整えていただき、御言葉を正しく受け取ることができるように  
聖霊の照らしを求めて祈りましょう。

司式者 しゆ 主なる神、てんち 天地の造り主、つくぬし この世界を統べ治めておられる王の王。  
あなたの<sup>おお</sup>大いなる<sup>みな</sup>御名をたたえます。  
あわ 憐れみ<sup>ふか</sup>深いわたしたちの<sup>まこと</sup>の父、  
わたしたちを<sup>みまえ</sup>御前に<sup>あつ</sup>集めてくださったことを感謝いたします。  
わたしたちは心をつにしてあなたの<sup>みことば</sup>御言葉を慕い求めます。  
聖書を<sup>き</sup>開き、<sup>みことば</sup>御言葉を聴く時、<sup>せいれい</sup>聖霊がわたしたちの心<sup>て</sup>を照らし、  
わたしたちを<sup>しんり</sup>真理へと<sup>みちび</sup>導いてくださいますように。  
どうぞ命の<sup>みことば</sup>御言葉を、わたしたちにお与えください。  
わたしたちが<sup>みことば</sup>御言葉によって生き、  
<sup>えいえん</sup>永遠の命の道を歩み続けることができますように。  
わたしたちの<sup>すくぬし</sup>救い主、イエス・キリストの<sup>みな</sup>御名によって祈ります。アーメン。

### 聖書朗読

聖書を丁寧に開き、ゆっくり声に出して読みましょう。  
聖書は、神がわたしたち一人ひとりに語りかけてくださっている「神の言葉」です。  
聖書は、誰が読んでも「神の言葉」です。  
聖書朗読において大切なことは、読むことよりも心と体の耳で聴くことです。

当日の聖書箇所(礼拝予定参照)

- ◇ 第一朗読〔旧約聖書〕
- ◇ 第二朗読〔使徒書〕
- ◇ 福音書

## 御言葉の照らし

- どの箇所から礼拝で執次ぎ(説教)がされているか、  
当日の説教題をもとに考え、その箇所を何度も読み返しましょう。

### ○御言葉を通して神と交わるときをもってください。

(心身の健康にに応じて15~20分程度。時間を決めて行うことが大切です。)

イエスさまは『この聖書の言葉は、今日、あなたが耳にしたとき、実現した』(ルカ4:21)と仰いました。わたしたちが聖霊によって聴くならば、聖書の言葉は実現するのです。ここでは、わたしたちのただ中に今日、実現されようとしている神の言葉を全身全霊(過去・現在・未来、喜び・苦しみ、神と人との関係のすべて)をもって聴くときとしましょう。

### 神との交わりを豊かにするための<sup>ともしび</sup>灯(ガイドライン)

#### 🕯 御言葉の中に入って行く。

登場人物になったつもりで情景を想像し、黙想しましょう。

#### 🕯 生きている神の言葉として聴く。

##### ①イエス(神)が、直接語られている人物となり、聴く。

イエス(神)が、人々(群衆・弟子・民)に語った言葉を、自分に語られている言葉として聴くとき、わたしの心はどのように動くか感じてみましょう。

##### ②周囲にいる人として、客観的な視点において聴く。

イエス(神)が誰かと語られている(出会う)姿をその周囲であるいは遠くから見ている群衆の一人であったら、わたしはどのような目でその姿を見ているでしょうか。また、どのような思いを抱くでしょうか。すべてを知っておられる神の御前にいることを再び意識し、正直に自分の心の動きを感じてみましょう。

#### 🕯 御言葉の光(神のまなざし)で自らを見る。

心に響いた箇所(言葉)・気になった人物の姿や態度を静かに見つましょう。

- ・なぜ響いたのでしょうか。今日のわたしにとって何を意味するものでしょうか。
  - ・試されている、呼びかけられていると感じる箇所はありましたか。
- 今日の御言葉を通して神はわたしに何を呼びかけているのでしょうか。

#### 🕯 わからないと感じることを大切にす。

わからないところは、あまり深く考えず「わからない」ままを味わいましょう。無理に理解しようとする、自己の価値観の中に神を閉じ込めてしまう危険性があります。大切なことは、「わからない」と感じている自分に気づき、立ち止まることです。わたしたちが疑問や不可解さを感じるところこそ、神の神秘に触れる扉なのです。なぜ「わからない」と感じたのか、自分の価値観や生活を振り返ることをするならば、御言葉の照らしを受けることになるでしょう。

※これらすべてを行う必要はありません。

神とわたしの関係を大切に、この交わりのときをささげましょう。

- 可能ならば後日配布される説教プリントに目を通しましょう。

## 沈黙

御言葉による神との交わりに感謝し、沈黙のうちに祈りましょう。

### 感謝の応答

#### 使徒信条（起立）

「わたしは神を信じます」の宣言から始まる使徒信条は、わたしたちの信仰告白の土台です。わたし自身の個人的な神への信仰告白であり、キリストの弟子たちを始め、歴史を生きてきたすべての聖徒の告白に連なる公の信仰告白でもあります。使徒信条は、キリスト教の一致を保つものであり、世界に広がっているすべてのキリスト者と一つとなり、キリストの復活による希望を宣言するものです。代々の聖徒と共に、そして教会で礼拝をささげる民と共に、心を合わせて使徒信条を告白しましょう。

#### 使徒信条

われ てんち つくぬし ぜんのう ちち かみ しん  
我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

われ そのひとりご われ しゅ  
我はそのひとり子、我らの主、イエス・キリストを信ず。

しゅ せいれい おとめ う  
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生まれ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみをうけ、十字架につけられ、死にて葬られ、

よみ 陰府にくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、

てん のぼ ぜんのう ちち かみ みざ ざ  
天に昇り、全能の父なる神の右に座したまえり。

かしこより来たりて、生ける者と死ねる者とを審きたまわん。

われ せいれい しん せい こうどう きょうかい せいと まじ つみ ゆる  
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し、

からだ のよみがえり、とこしえ いのち しん  
身体のよみがえり、永遠の生命を信ず。 アーメン。

#### 執り成しの祈り（着席）

執り成しの祈りとは、『他者のために捧げる』祈りのことです。

神の民であるわたしたち自身と、

すべての人々のために捧げられている公の礼拝であることを意識し、個人的な祈りではなく、以下の五つの課題について自分の言葉で執り成しの祈りを捧げましょう。

- ①様々な事情で教会に集まることができない方々のために
- ②全世界の教会・キリスト者のために
- ③すべての人々のために
- ④苦難の中にいる人々のために（具体的に思いを巡らして）
- ⑤現在、わたしたちが直面している「日本」「地域社会」の課題・問題のために

## 献げもの

キリストは、どのようなときもわたしたちが互いに仕え合う者として生きることを望んでおられます。わたしが献げられるもの、分かち合えるものは何か黙想しましょう。この一週間、それらを日々ささげながら（分かち合いながら）歩いていくことを神の光のもとで決心し、必要な力と恵みを願いましょう。

## 主の祈り（起立）

一つひとつの言葉の意味を深く思い巡らしながら、父なる神を仰ぎ、

- ・神の御子キリストが教えてくださった祈りであること
- ・聖霊によって、わたしたちも父なる神の子どもとされていること

を意識し、すべての教会、すべての神の子どもたちと共に心を合わせて祈りましょう。

### 主の祈り

てん われ ちち  
天にまします我らの父よ、  
ねが み な  
願わくは御名をあげめさせたまえ。  
くに き  
み国を来たらせたまえ。  
みこころ てん ち  
御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。  
われ にちよう かに きよう あた  
我らの日用の糧を今日も与えたまえ。  
われ つみ おか われ ゆる われ つみ ゆる  
我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。  
われ こころ  
我らを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。  
くに ちから さかえ かげ なんじ  
国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。 アーメン。

## 派遣

感謝の祈り ♪ 頌栄 541 「父 み子 御霊の大御神に ときわに絶えせず み栄えあれ アーメン」

キリストの御名によって集められ、神の民としていただいた恵みに感謝しましょう。

## 祝 福

沈黙をもって、心のうちに神からの祝福の言葉を聴きましょう。

へいわ  
平和のうちに、この世へと出て行きなさい。  
しゅ かみ つか りんじん あい しゅ かみ あい りんじん つか  
主なる神に仕え、隣人を愛し、主なる神を愛し、隣人に仕えなさい。  
しゅ  
主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、  
いちどう とも  
あなたがた一同と共にあるように。アーメン。

## 派 遣

神から受けた豊かな祝福を周りの人々に分かち合うために、わたしたちは神の民として共にこの世へと遣わされます。キリストにつき従う者としての責任と喜びをもって、キリストと共にこの世に目を向け、歩いていきましょう。